

緑のセンターだより

NO. 225 平成 29 年 12 月 1 日 発行

発行元：（公財）札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

スギ

スギ科 スギ属

Cryptomeria japonica

スギは北海道民になじみが薄いかもかもしれませんが、日本人には最も親しまれ、利用されてきた樹種で、樹高 30～40m、胸高直径 1.5～2m に及ぶ常緑針葉樹です。数千年を数える超長寿にもなる木で、巨大なものは樹高 65m、胸高直径 6.5m に達し、青森県南部から九州屋久島まで分布します。今は少なくなりましたが秋田、吉野、立山、霧島、屋久島などに天然林が残されています。古くから植林されたため、天然のものか不明なものが多くあります。また、神社仏閣などにも植林されており、荘厳な雰囲気醸し出しています。

スギは日本ではクスノキに次いで大きくなる木で各地に名木、巨木があり、天然記念物に最も多く指定されています。最も有名なのは屋久島で樹齢 2000 年以上のスギが 8 本あり、中でも「縄文杉」は高さ 30m で樹齢 3000 年以上と推定されています。ちなみに「縄文」とつくのは樹皮が縄文模様に見えるからだそうです。また、11 月末に林野庁が京都市内の「花背の三本杉」の 62.3m が日本一高い木と発表しました。

スギはわが国固有種とされていましたが、中国でも発見されました。ですが、研究により同じものとわかり 1 属 1 種であるとされています。日本には変種として京都大学芦生演習林のものに名付けられたアシウスギ(*C. japonica* var. *radicans*)があり、日本海側(裏日本側)に多く分布することから「ウラスギ」と呼ばれます。これに対し太平洋側のものを「オモテスギ」と呼んでいます。その違いは葉の着く角度がオモテスギは大きく広がり、ウラスギは狭くそのため葉を握っても痛さを感じさせないことです。

葉は鎌状針形で葉柄はなく、先はとがります。基部は太く、枝の軸を包むように広がってらせん状につき、枯れても落葉せずに落ちるときは軸ごと落ちます。スギの葉はどれが葉なのか分かりにくいですが、一般に葉と枝の分離が極めて困難なため、緑の部分をスギの葉として扱っています。

日本の人工林は約 1000 万 ha あり、その内スギが約 45% を占め、その中でも利用径級に達する 40 年生以上が約 70% あり、風媒花のスギ花粉が舞飛び人々を悩ませています。1992 年に富山県で無花粉スギが発見されて以来試験研究機関では無花粉、少花粉の品種開発が進められています(季刊森林総研 38)。しかし、世界に冠たる材質のよさは変わりなく、酒樽、船、建築資材と利用範囲は非常に広いものとなっています。

北海道でも古くから松前藩をはじめ渡島半島を中心に植林され、札幌円山公園、北海道神宮(明治 10 年ごろ)の他、囚人が植えたという月形町のスギ林(明治 15 年植)、増毛、留萌、羽幌町(大正 7 年植)とかなり北の方まで植林されました。さらに北上し、天塩町や利尻島の大沢寺(だいたくじ)には明治 20 年頃植えられたスギが現存し、利尻島北見神社にも明治末期に植えられたスギがあることから、利尻島でもスギが育つことがわかりました。昭和 42 年から森林組合が野塚地区に数年かけて数千本のスギを植え、北緯 45 度 10 分北限のスギ林となっています。一方、東には日高の新冠町に八木牧場の屋敷林としてまとまった林(昭和 8 年植)があり、さらに厚岸湾をのぞむ釧路町の仙鳳寺の境内に東限の双龍スギ(明治 41 年植)があります。この双龍のスギは道の指定保存木で今年の調査で樹高と胸高直径がそれぞれ 14m・55cm、15m・54cm の立派なスギが玄関前に鎮座します。

年の瀬には荘厳なスギ木立の中、除夜の鐘が鳴り響くことでしょう。

<参考文献>「園芸植物大事典」小学館、「杉のきた道」中央公論、「有用樹木図説」成文堂

「北限に生きる望郷樹」北海道新聞社、「スギのすべて」全国林業改良普及協会、「日本有用樹木誌」海青社ほか



12月の園芸作業

このコーナーの園芸作業は札幌地方での目安です。
ここに掲載した以外の作業もたくさんありますので、
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問い合わせください。

緑の相談受付 10:00～12:00、13:00～16:00
☆豊平公園 811-9370 月曜以外毎日
(月祝日の場合は受付し、翌平日休み)
※ 12/29～1/3 は年末年始のため休館します。
※ 平岡樹芸センター・百合が原公園は
冬期間相談受付していません。

◆2017年の気象経過と相談内容

気象経過

気温：栽培期間となる4月～10月の気温はおおむね
平年並みに経過しました。4月は平年並みに、5月は
高め、6月上旬～7月上旬は平年よりやや低め、7月中
旬は再び高く、7月下旬～8月上旬は平年並み、8月中
旬～10月中旬までは低めに経過しました。

日照時間：4月～10月の日照時間はやや多く経過し
ました。4～5月中旬は概ね平年並み、5月下旬～6月
中旬は少なめ、6月下旬～9月上旬は多め、9月中旬～
10月中旬は少なめ、10月下旬は多く経過しました。

降水量：4月～10月の期間全体でも雨量は2割多く、
集中豪雨的な雨降りが増えています。

今年の多い相談事項

初春から初夏にかけてマツなど針葉樹、シャクナゲ
など常緑樹の枝先の葉が枯れたと言う相談が多くあ
りました。枝先が枯れたのは、昨年11月5～6日に25cm
の雪があり、樹本体が冬の準備が整う前に一気に低温
にさらされた寒害です。

春から初秋にかけてウメ、モモなどのバラ科果樹の縮
葉病、庭木全般にわたりカイガラムシ、ナガチャコガ
ネの害が多くありました。

初夏は日照不足、低気温による野菜の生育不良、大
根などにトウ立ち、斑点病、ウイルス病、トマトの葉
カビ病、ツツジ類のモチ病などの発生がありました。

夏には低温、日照不足によるキュウリなど果菜類の
曲がり果、黒星病、アスパラの生育不良がありました。
ただ、7月中旬は逆に小雨、高気温で各種害虫が多く
発生しました。

病害虫別の状況としては、ウドンコ病は一般的に初
夏と初秋の20℃前後の時によく発生し、盛夏の時期は
一度休みますが、今年の8月が比較的低温であったた
めか初夏から秋まで連続して発生しました。

果樹全般に例年と同じくオウトウハバチ、ハダニ、アブラムシ、シンクイムシの発生が見られまし
た。また、庭木にキクイムシ、カミキリムシなどの食害もみられます。

豪雨の回数が多くなり、一時的な冠水状態で根が傷む相談も年々増えています、特に夏期の冠水は
暑さで根が傷みやすいので排水の良い畑作り、庭作りを心がけて下さい。

◆冬の鉢花の花後の管理

シクラメンなどは今が花の美しい時期です。花を長く楽しむために適切な管理をし、また、来年も
美しい花を咲かせるために、花後の管理を行いましょう。

↓グラフはいずれも一目盛5日間の平均をとり、1カ月
を6週で表しています。「4月①」は4月の1番目の5
日間(1日～5日の平均)を指しています。



グラフは札幌の気象データです。
気象データは気象庁HPより抜粋

1. シクラメン

- ・置き場所…冬期間は光線が弱く、日照不足になりがちです。株は軟弱になりますので、できるだけ日当りの良い場所に置きます。
- ・温度…高温を嫌い、25℃以上になると生育が悪くなります。日中 20℃前後、夜間 12～15℃くらいの低温で管理すると花が長く楽しめます。
- ・肥料…普通鉢は 1000 倍に薄めた液体肥料を 7～10 日置きに与えます。底面給水鉢は、下のタンクに 1000 倍に薄めた液体肥料を与えた後、量が半分以下になったら水を 2 回程足します。その後、水がほとんどなくなったらタンクを外し、汚れを洗い、新しい液体肥料を注入します。
- ・水やり…普通鉢は表面が白っぽく乾いたら、球根にかけないように鉢の縁から与え、受け皿に溜めないようにします。底面給水鉢も月に 2 回程度、上からたっぷり水やりをして鉢土の上部に溜まった肥料分や老廃物を流しましょう。
- ・管理…咲き終わった花や、黄化した葉は茎の根元からひねって抜き取ります。

◎ 花後の管理

- ・置き場所…開花中と同じ明るい日当りの良い室内に置き、5 月中旬～9 月いっぱいまで屋外の涼しい場所置きます。夜間の最低温度が 12～13℃になったら室内に取り込みます。
- ・植替え…普通鉢は 8 月、底面給水鉢は花後の 4 月～5 月が適期です。底面給水鉢は普通鉢に植替えましょう。

2. ポインセチア

- ・置き場所…日当たりの良い場所で、日中 20～30℃、夜間 15～17℃が適温です。寒さに弱いため、冷風の吹きぬける場所や 15℃以下だと葉落ちなどの障害が出ます。また、霜に当たると枯死します。
- ・肥料・水やり…2000 倍に薄めた液体肥料を月 2 回ほど、水は表面の土が乾いたら与えます。

◎ 花後の管理

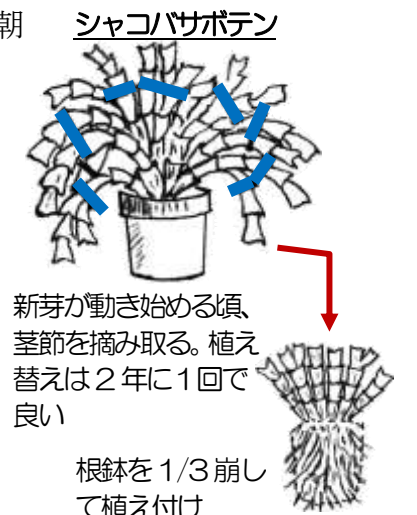
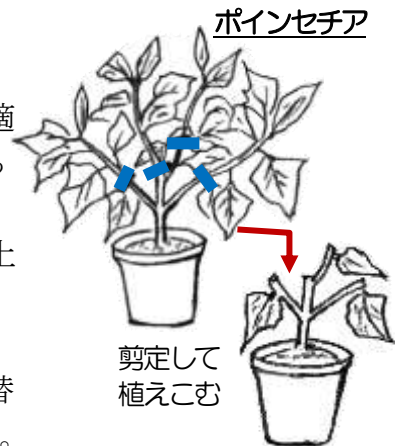
- ・剪定・植替え…5 月下旬～6 月上旬に各枝 2～3 節を残して剪定し植替えます。活着後は日当たりの良い所に置き、液肥を 7～10 日置きに与えます。
- ・短日処理…苞を色づけるため 10 月上旬から 60 日間、夕方 5 時から朝 8 時迄、真っ暗になるようダンボール箱などで覆います。

3. シャコバサボテン

- ・置き場所…室内の日当たりの良い所、10～20℃が適温です。購入後蕾を落とさないためには、① 環境を大きく変えない ② 暖房機の温風に当てない ③ 水を与え過ぎないことです。肥料は、春の植替えまでの間は与えません。花卉の先が萎れかけたら花がら摘みをします。

◎ 花後の管理

- ・休眠…花後は 5～8℃の凍らない明るい場所におき、休眠させます。直射日光も必要ありません。10℃以上ある場所では新芽が出ますので注意しましょう。
- ・植替え…4 月～5 月上旬の新芽が動き始める頃、茎節を 3～4 節残して切り、鉢土を 1/3 程崩して新しい水はけの良い配合土で植え付けます。水やりは、1 週間程度待ってから与え、肥料は植え替えした 2 週間後から置肥・液肥を行い、8 月末で打ち切ります。
- ・芽ぞろえ(芽摘み)…8 月中旬～9 月上旬、株全体の草姿を整え、花芽をつけさせるため、小さな新芽、充実していない茎節を摘み取ります。
- ・短日処理…10 月上旬から 10～15℃の低めの温度の場所に置き、ポインセチアと同じ方法で行います。約 30 日間で蕾が着き、その後 30 日くらいで開花します。





12月～1月の催しのお知らせ



'17.12月号

豊平公園 緑のセンター 豊平区豊平5条13丁目 TEL011-811-6568 <http://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
展示会				
クリスマス展 with アレンジ押し花	11月28日(火)～12月24日(日)	豊平公園花とハーブの会 フラワーサークル香ho花		入場無料
クラフト教室				
アレンジ押し花作品作り	成年にちなんだミニ色紙	12月22日(金)	10:00～	12/12(火)～ 2,000円
緑のセンター臨時休館のお知らせ				
緑のセンターアトリウムの補修工事及び年末年始のため、12月25日(月)～平成30年1月3日(水)は休館いたします。緑のセンターは年内は12月24日(日)まで、新年度は1月4日(木)から通常通りの開館となります。				

百合が原公園 北区百合が原公園210 TEL011-772-4722 <http://yuri-park.jp/>

百合が原緑のセンターは改修工事のため、6月19日(月)～平成30年1月下旬頃まで休館となります。
休館中は展示会及び緑の相談はお休みさせていただきますが、講習会につきましては実施予定です。
詳しくは百合が原公園HPに掲載いたしますので、そちらでご確認ください。
なお、休館中は講習会の受付・お問い合わせの電話番号が変わります(011-772-4722)。

その他の公園

イベント 内容	日時	備考	問い合わせ・申込み先
季節展示「サケの赤ちゃん」	12月5日(火)～H30.2月12日(月祝)	直接会場へ：無料	さけ科学館 582-7555
さっぽろホワイトイルミネーション	11月24日(土)～12月25日(月)	直接会場 大通公園 へ	さっぽろホワイトイルミネーション実行委員会 281-6400
ミュンヘン/クリスマス市 in sapporo	11月25日(土)～12月24日(日)		ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo実行委員会 211-2376
モエレのホワイトクリスマス2017	12月23日(土)～24日(日)13:00～	直接会場へ：入場料有	モエレ沼公園 790-1231
イサム・ノグチ あかり展	H30.1月6日(土)～3月4日(日)	直接会場へ：無料	
ミニ門松づくり	12月16日(土)・17日(日)10:00～	要申込：2,000円	前田森林公園 681-3940
しめ縄リースづくり	12月16日(土)9:00～	要申込：1,000円	
門松づくり	12月17日(日)9:00～	要申込：1,000円	農試公園 615-3680
新春ワン風づくり	H30.1月8日(月祝)10:00～	要申込：800円	
滝野スノーワールドオープン！	12月23日(土祝)～	駐車料金有・別途入園料有	滝野すずらん丘陵公園 592-2222 592-3333
イベント等の詳細は滝野すずらん丘陵公園のHPをご覧ください。 http://www.takinopark.com/			
木の実でリース作り	12月17日(日)10:00～、13:30～	要申込：500円	川下公園 879-5311
川下公園ウィンターフェスティバル	H30.1月6日(土)～8日(月祝)10:00～ 毎日遊びが変わります。	遊びにより要申込 及び有料あり	
冬休み平岡公園にぎわいフェスタ	H29.1月13日(土)13:00～(受付12:30～)	直接会場へ：100円	平岡公園 881-7924

滝野すずらん丘陵公園

12月23日(土祝)
冬シーズンOPEN!!
チューブ・そりすべり・歩くスキー他

前田森林公園

30年1月5日OPEN!!
歩くスキー

モエレ沼公園

30年1月5日OPEN!!
歩くスキー、そり、
スノーシュー

農試公園

30年1月6日OPEN!!
・歩くスキー(毎日開催)
・わいわいタイヤチューブ
(タイヤチューブは土日祝日のみ開催。
但しイベント時は休みます)

川下公園

30年1月6日OPEN!!
歩くスキー

中島公園

30年1月4日OPEN!!
スノーシュー

雪の状況により開始日が変更になることがあります。
詳細は各公園管理事務所へお問い合わせください。